

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・



お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter No.29. 2016. 7. 10



会員増強と実践

NPO法人 お口の健康ネットワーク
理事長 渡邊 達夫

まず始めに、NPO 法人「お口の健康ネットワーク」の事務局を 9 月から

〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1

岡山大インキュベータ 204 号室

に移転することをご報告します。今まで長い間、株式会社 PMJ の一室をお借りして、PMJ の社員の皆さんにすべての事務をお願いしてきました。おかげさまで NPO 法人としては大きな発展を遂げることができました。草野会長、草野社長はじめ社員の皆様に感謝いたします。また、今後も相当の援助をしていただけるとのことです。御礼申し上げます。

新事務局が入る岡山大インキュベータは独立行政法人 中小企業基盤整備機構の活動の一環として運営され、入居の条件として将来独立して事業ができるようにすること、岡山大学との強い連携があること、反社会的勢力とのつながりが一切無いことなどが挙げられています。「お口の健康ネットワーク」は書類審査と面接試験を経て入居を許可されました。また、岡山市の審査に合格すれば向こう 3 年間、入居費用の半分以上を援助してもらえます。そして、今後さらに発展するようにインキュベータから指導・助言を受けることとなります。

入居後は専任の事務員を置きますが、軌道に乗るまで会員の皆さんにご迷惑をおかけすることがあると思います。しばらくの間ご容赦ください。

さて、訪問実習に行ってみて、気が付いたことがあります。NPO 法人「お口の健康ネットワーク」の会員になって会費を払ってくれているのですが、「つまようじ法」を臨床に取り入れていない歯科医院が結構あるということでした。もったいない限りだと思います。

「つまようじ法」と宿主強化療法は新しい理論に基づいた治療法で、従来の治療法に加えて「つまようじ法」を取り入れれば診療の幅がぐっと広がります。また、受診者の評判がよく、リピーターも多く、増患につながるという声が多く聞かれます。従来の治療法と比較して歯肉出血は明らかに早く治ります。口臭も良くなります。歯の動揺も改善します。歯もきれいになります。快適な口腔環境を維持できます。この技術を早く地域の人々に広げてほしいのです。日本中の人々が、世界中の人々が一生自分の歯で食べられる社会が実現することを願っています。

話は変わりますが、歯科医師が増え、フッ化物の応用で齲蝕が減り、歯科医院当たりの患者数は明らかに減少してきました。歯を削って充てんしたり、歯を抜いて入れ歯を入れる歯科医師は多すぎるのです。この傾向は元に戻ることはないでしょう。これから求められる歯科医師は、歯を削らない、歯を抜かない歯科医師です。さらに、来院した患者さんの健康の保持・増進を図ることができる歯科医師です。社会から求められる歯科医師として生き続けるには、発想法の転換が必要です。

「お口の健康ネットワーク」は「一生自分の歯で食べられる社会の実現」を一般目標とし、その具体的行動目標として「つまようじ法」（宿主強化療法）の普及を掲げています。この具体的行動目標を実現するための戦略として、認定医療機関制度、認定歯科衛生士制度、セミナー、訪問実習、海外機関との連携などを実践しています。

これらの活動の成果を評価しなければなりません。その評価基準の一つに会員数があります。数は力です。会員数の増加こそが私達の理想郷への基本的要因です。理事の先生方をはじめ認定医療機関の先生方、会員の先生方のお力で会員増強を図って頂きたいと思えます。会員の皆さんから「お口の健康ネットワーク」を紹介された先生も必ず喜んでもらえるものと信じています。ただ、実践しないと成果は得られませんので、ぜひ実践していただきたいと思えます。一生自分の歯で食べられる社会を実現するために。

診療室訪問

No.25

おおはし歯科



所在地: 奈良県生駒市山崎町 21-39
 チェア: 4 台
 スタッフ: Dr.2 名、DH5 名、DA5 名
 診療時間: 9:30~13:00、15:00~17:00、17:30~19:00
 (水・土は夜間診なし)
 休診日: 木・日・祝日
 外来患者数: 1 日約 35 名

今回訪問させていただいたのは近鉄奈良線の東生駒駅から徒歩5分の住宅地にある「おおはし歯科」。40代ながら今年開業20年を迎えられる大橋先生と、常勤の歯科衛生士さん2名にお話を伺いました。

■すごく痛そうなブラッシング？

DH加藤 私は手に職をつけて地元で働きたいという思いから、社会人を経て歯科衛生士学校に入り、卒業してすぐこちらに勤めて3年目になります。つまようじ法は当院で初めて知りましたが、今では毎日つまようじ法で患者さんを磨かせてもらっています。

DH久野 私も衛生士学校を出て最初の就職先が当院で、今年2年目になります。つまようじ法は最初に当院に見学に来た時にされているのを見て、第一印象が「すごく痛そうなブラッシング！」でした。その時見た患者さんがすごく出血していて、「こんなにきつく磨きはるんや！」と思ったことを憶えています。ひどく出血しているのはとても強いブラッシング圧が原因ではないかと思ったのです。でも、その後勉強させてもらってそうではないことが分かりました。実際に私が患者さんを磨いていても、出血する方は真っ赤になるくらい出ますが、全く出血しない患者さんもいます。

加藤 ブラッシングの効果はすごく感じていて、「歯磨きだけで楽になった」と言ってくれる患者さんもいます。院長からも言われていることですが、患者さんには気持ちよくブラッシングを受けてもらいたいので、患者さんの様子を見ながら、

なるべくブラッシングで痛みが出ないように気を付けています。

久野 痛がられる患者さんの場合、ブラッシング圧が弱くなってしまい、あまり効果的なブラッシングができないことがあります。そういう患者さんには、お家でも歯ぐきをマッサージするように磨いてもらうようにお勧めしたりしています。

■来院間隔を縮めて改善

久野 出血の多い患者さんには、可能な場合1週間に1回とか2回という形で、来院間隔を詰めて来てもらうと出血が少なくなっていくのが分かりやすいです。

加藤 患者さんによりませんが、触るたびに出血するような状態でのCの処置はしないようにしているので、痛みが強いなどの症状がなければ先にPの処置を行っています。2、3回来ていただくと良くなるケースが多いです。

やはり関心の高い方は症状が良くなるのも早いので、関心がない方をどうするかが難しいですね。基本的には、途切れないよう到来院を促すよ



▲訪問実習受講時の様子

う努めています。

■虫歯予防から歯周病予防へ

院長 現在はおかげさまでスタッフにも恵まれ安定して医院の運営ができています。開業当初は補綴やインプラントを一生懸命勉強して治療していましたが、平成 10 年頃でしょうか、先輩の勧めで予防の勉強に行き始めたころから考え方が変わっていききました。まずは子供の虫歯予防に取り組み、今でも子供さんはたくさん診させてもらっていますが、そのうち、なんとか歯周病予防もできないかという課題が浮かんできました。虫歯予防におけるフッ素に相当するようなものがあればと思ったのです。そんな時に黒瀬真由美先生のお話を聞く機会があり、つまようじ法を知りました。10 年くらい前だったと思います。

深い歯周ポケットがある患者さんにまず私自身がやってみて、出血や排膿がおさまったというケースがあり、これはいけるかなという手応えをつかみました。それから歯科衛生士と一緒にセミナーに参加したり、訪問実習を受講したりして本格的に取り入れていききました。つまようじ法は歯科衛生士の常勤、非常勤を問わず、また非常勤のドクターにも共通言語として知っておいてもらう必要があるので、週 1 回程度、朝の時間に相互実習を行うようにしています。認定医療機関として登録もさせていただいたので、私も含めて質を保たなければなりませんし、自院でつまようじ法のできる歯科衛生士を育てられるようになっていけたらと考えています。

■公衆衛生的な普及を

院長 最近では、患者さんがより楽な方向に行くようにということを考えながら診療をしています。重症化させると術式が難しくなったり、予知性も低くなりますが、軽症で留めれば処置も簡単

で、あまり苦痛な治療を受けずに済みます。メンテナンスの患者さんでも「この医院は痛くないから」とおっしゃる方もいます。やはり痛い、怖いだと通いにくいでしょう。そうやって治療中心から予防中心にだんだんと変わってきたと思います。患者さんも良くなって、スタッフも楽しくできるのがいいですね。私自身はあまり楽にはなっていないのですが（笑）。



私は開業前から公衆衛生的なことには興味があつて、それが予防に力を入れるバックグラウンドになっていたように思います。

つまようじ法に関して言えば、診療室の外でももっとこのブラッシング法を知ってもらえたらいいのではないかと考えています。治療法としてはもちろんですが、健康づくりの手段としてもつまようじ法は有効なのではないでしょうか。例えば今は健康経営の時代とも言われていますし、この近辺はベッドタウンで企業は少ないのですが、今後は社員の健康づくりなどにも役立つかもしれません。つまようじ法を公衆衛生的に広めるお手伝いもできたらと思います。

大橋 正和 (おおはし まさかず)

平成 6 年 長崎大学歯学部卒業

平成 6 年 大阪市内歯科医院勤務

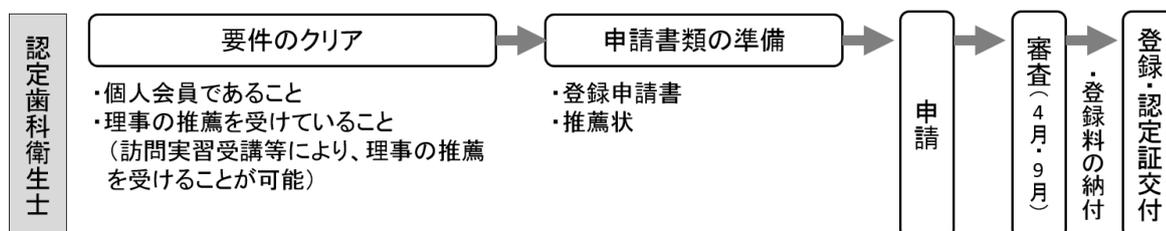
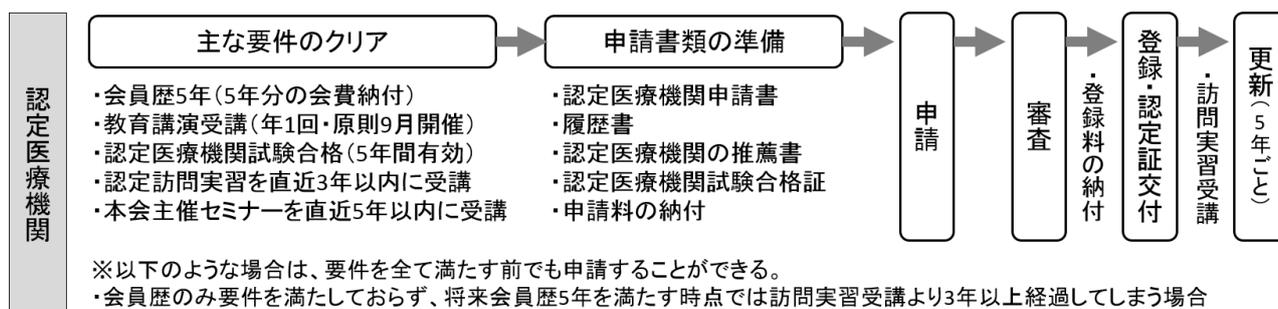
平成 8 年 おおはし歯科開業 現在に至る

●今後の行事日程

平成 28 年 月 日	内容	開催地	講師等	時間 (予定)
9/3 (土)	第 16 回理事会	新潟	—	17:00~19:00
9/4 (日)	第 2 回認定医療機関教育講演		渡邊 達夫	9:30~11:30
	第 8 回通常総会		—	11:40~12:30
	お口の健康ネットワーク講演会		宮崎 秀夫	13:30~15:30
10/16 (日)	お口の健康ネットワークセミナー アドバンスコース (症例検討)	大阪	渡邊達夫 〔認定医療機関〕 アサヒ 歯科医院 いさつ 歯科 ビバ・スマイル 歯科 村上 歯科医院	10:00~15:00
11/13 (日)	お口の健康ネットワークセミナー アドバンスコース (症例検討)	東京		

●認定制度について

現在本会には認定医療機関制度と認定歯科衛生士制度があります。登録までの流れについて下記に図示しています。ご不明な点は事務局までお問合せください。



(編集後記)

冒頭の巻頭言で、理事長より事務局移転についてのご報告がありました。当会はもともと 1999 年に発足し、10 年後の 2009 年に NPO 法人となりました。その当時、次の 10 年が楽しみだなど思ったことを憶えております。

私ども株式会社ピー・エム・ジェーのスタッフは約 17 年間、事務局としてお手伝いをさせていただきました。至らぬ点も多々あったかと思いますが、これまでの会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。あと 3 年足らずで NPO としての 10 周年を迎えます。当会の益々の発展を願うとともに、会員の皆様の引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

(事務局／草野栄路)

お口の健康ネットワーク会報 No. 29

2016 年 7 月 10 日発行

発行：特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク

〒700-0953 岡山市南区西市 541-1

TEL. 086-244-4692 FAX. 086-244-1351

http://www.oral-health-network.jp

会員専用サイト：http://www.ohn-member.com

E-mail: info@oral-health-network.jp